

すこやかだより



白鳥病院訪問担当

平成 25 年 3 月 28 日

- 停電時の対処法について -

日ごろから災害に対する備えをして、いつでも対応できる準備をしておけば、被害の拡大を防ぐことができます。今回は、停電により深刻な病状を引き起こさないように停電時の対処法について考えてみましょう。

1. 在宅酸素療法をしている場合

【在宅酸素濃縮装置】

- 停電になると在宅酸素濃縮装置はバッテリーがないので作動しません。
 - 停電の際は、アラームと電源を切って【携帯用酸素ボンベ】につなぎ替えてください。
- あわてずにゆっくり行動してください。



【携帯用酸素ボンベ】

- いざという時にあわてないために携帯用酸素ボンベの置き場所は定位置にしましょう。
- 酸素ボンベは、現在使用している酸素流量で何時間くらい使用できるか知っておきましょう。
- 酸素自体に引火性はないですが、火気をいっそう激しくします。火気に近づけないようにしましょう。
- 手持ちの酸素ボンベの本数を常に確認し、不足がないように早めに業者に依頼しましょう。



2. 痰の吸引が必要な場合

●充電式の吸引器は、停電時に 30 分から 3 時間くらい使用できます。

●電動の吸引器が使えない場合は次の方法があります。

注射器に吸引カテーテルをつなぎ、
口の中にカテーテルの先を入れ
注射器を引くと痰が吸引できます。

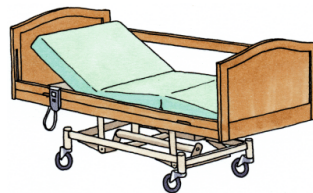


3. 電動ベッド・エアーマットを

使っている場合

●機種によっては、手動で背を水平にする機能がある電動ベッドもあります。前もって確認しておきましょう。ベッドを平坦にすることで誤嚥の恐れのある方は、枕や布団を重ねて上半身を起こしましょう。

送風チューブを折り曲げて
ガムテープか輪ゴムなどで止めます。



●停電時には、エアーマットから空気が漏れるため応急処置が必要です。(写真参照) 電力復旧後には最初の設定に戻ります。送風チューブのガムテープや輪ゴムなどを外し、設定をやり直して下さい。